

予算質疑をピックアップ

行政改革

Q：人事管理システム関連に200万円が計上されているが目的は。

総務課長：事務の効率化と能力成果主義導入のため。また、給与体系も細分化するので、電算化をする。

Q：職員互助会への公費投入額が140万円削減されたが。

助役：公務員批判もあり、議会でも問題になったことを重く受け止め、事業の見直しを図った。

Q：職員研修に425万円計上しているが主な内容と目的は。

総務課長：接遇とパソコン技術について4、5人の職員に講師養成研修を受講させ、新人研修や通常業務の際に講師として指導できるようにすることなど。

環境

Q：リサイクルプラザとエコパークを一体とした事業が図られるのか。

生活環境課長：4月にエコパーク管理運営委員会を設置。エコパーク内でリサイクル品の販売、フリーマーケットの開催などを検討していく。



リサイクルプラザと隣接しているエコパーク

教育

Q：特別支援教育に500万円計上されているが内容は。

学校教育課長：情緒障害児を対象に週8時間、第一小学校内の生涯学習センター2階で指導する。

Q：武道館改修に4,000万円計上されているが内容は。

社会教育課長：建物内外装、出入り口の改修など。また、スロープやだれでもトイレの設置を行う。



狭山池南側の武道館

産業

Q：「農地と担い手マッチング事業」として100万円が補助されているが内容は。

産業振興課長：農園主の技術指導を受けながら農業体験が行える事業。トイレ、物置などの設置費を補助する。

Q：企業誘致政策は。

産業振興課長：移転や開業の希望者に資金を斡旋する。今後については状況を見て検討する。

街づくり

Q：道路工事費が、3億円と大幅に増額されているが。

建設課長：道路整備における市町村への都の補助金制限が緩和されたため。

Q：今年度9,000万円の補助金をもって殿ヶ谷区画整理事業組合への助成が最終年度となるが見込みは。

都市計画課課長補佐：地権者の同意など進まない状況にあり、18年度末で50%の進捗率を予定。

福祉

Q：「心身障害者（児）福祉センターあゆみ」と「むさしの保育園」を指定管理者に委託することによる経費の削減は。

福祉課長：あゆみが500万円、むさしの保育園で700万円が削減になる。

Q：障害者自立支援法が施行されるが、町の対応は。

福祉課長：相談などの支援に力を入れていきたい。また、日常生活用具の貸与などを引き続き予算化。

Q：乳幼児ショートステイ事業で34万円計上されているが内容は。

福祉課課長補佐：生後3ヶ月から未就学児までの子を全日、青梅市内の社会福祉法人「恵明学園」に預けられる。なお、利用料は日帰り3,000円、宿泊4,000円となっている。



青梅市（友田町）にある恵明学園

増収対策

Q：個人町民税が11.3%の増額になっているが、根拠は。

税務課長：定率減税、高齢者控除廃止などの税率改正、所得の伸びなど。

Q：たばこ税が7.2%増加しているが。

税務課長：7月のたばこ税率の引き上げにより1本あたり1円増額になるため。

Q：町独自の新たな増収対策は。

情報課長：10月からホームページに2枠の広告掲載などを予定。

防災

Q：基地を抱える町として、国民保護法に基づく避難訓練等を予算化するべきだったのでは。

地域振興課長：都や近隣市と協議してから行うことが妥当と判断したため。

わたしたちの税金、ムダなく効率的に
まちづくりに生かされるか